

# OCI 上の Red Hat OpenShift Virtualization に移行する 3 つのメリット

仮想化のニーズが変化し、クラウドネイティブ・アプリケーションや AI を活用したアプリケーションが登場したことで、組織の複雑さを軽減しつつモダナイゼーションの取り組みをサポートできるプラットフォームのニーズが高まっています。このチェックリストでは、仮想マシン (VM) を Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 上の Red Hat® OpenShift® Virtualization に移行した場合の 3 つの主なメリットについて詳しく説明します。

## 1 大規模な VM の移行とデプロイを加速する

VM を新しいプラットフォームに移行する作業は、適切に行わないと、多大な時間とコストがかかることがあります。移行に数千台の VM が含まれるとなれば、この傾向はより顕著になり、移行に伴って不整合やエラーが発生するリスクも増大します。

OCI 上の OpenShift Virtualization は、以下のような機能を通じて、運用の継続性と一貫性を維持しながら、既存の VM ワークロードの大規模な移行を加速します。

- ▶ 仮想化移行ツールキット (MTV): 移行の効率化とエラーの軽減に役立つステップバイステップのガイダンスを提供します。
- ▶ Red Hat Ansible® Automation Platform との統合: 大量の VM 移行のオーケストレーション、移行前後のチェック、ネットワークやストレージなどの依存関係 (OCI サービスを含む) の調整を可能にします。
- ▶ ライブマイグレーションのサポート: VM の稼働が維持されるため、ダウンタイムを削減し、OCI にワークロードを効率的に移行できます。

## 2 統合された自動化、ツール、ワークフローで運用を最適化する

ハイブリッド環境やマルチクラウド環境の運用では、適切なプラットフォームやツールでサポートされていない場合は特に、日常的な運用・管理プロセスの複雑さが増大する可能性があります。

OCI 上の OpenShift Virtualization は、Red Hat と OCI の運用ツールおよびインフラストラクチャ・サービスと事前統合済みの自動化機能 (Ansible Automation Platform 経由) と Kubernetes 管理ツールへのアクセスを提供することにより、管理の負担を軽減します。これにより、次のようなメリットが得られます。

- ▶ OCI インフラストラクチャや環境など、複数のドメイン間で一貫した自動化ワークフローを作成し、管理します。
- ▶ OCI デプロイメントの管理とスケーリングを自動化することで、日常的な運用の複雑さを軽減し、ハイブリッドクラウドやマルチクラウドの自動化戦略をサポートします。
- ▶ OCI との統合用に最適化された Kubernetes Operator と Helm チャートを使用して、パートナー・アプリケーションの管理をさらに効率化します。

### 3 段階的なモダナイゼーションの取り組みをサポートする

新しい仮想化プラットフォームに移行するプロセスは、多くの場合、より広範なモダナイゼーション戦略への第一歩にすぎません。そのプロセスを、従来のワークロードとモダナイズされたワークロードの一元管理、そして革新的なツールや開発手法の利用によってサポートする必要があります。

OCI 上の OpenShift Virtualization は、仮想化アプリケーションとコンテナ化アプリケーションの両方をサポートし、包括的な開発者・運用ツールを提供し、クラウドネイティブ・アプリケーションや AI を活用したアプリケーションの開発基盤となることで、お客様の組織が独自のペースで自信を持ってモダナイゼーションを推進できるよう支援します。このプラットフォームは、次のことが可能になります。

- ▶ 仮想化アプリケーションとコンテナ化アプリケーションの両方を、統一された一貫性のあるツールとワークフローで管理することで、管理の複雑さが軽減され、既存のスキルを引き続き使用できます。
- ▶ 仮想化に対する既存の投資を維持しながら、クラウドネイティブ・アーキテクチャ、最適化された管理ワークフロー、Infrastructure-as-Code (IaC) プラクティス、先進的なアプリケーション開発手法を利用して、従来のワークロードやインフラストラクチャをモダナイズします。
- ▶ OCI ネイティブサービス (Autonomous Database、AI Services、Object Storage など) およびその他の革新的な IT ツールと完全に統合することで、アプリケーションやインフラストラクチャのモダナイゼーションをさらにサポートできます。

#### Red Hat と OCI についてさらに詳しく

[Red Hat と OCI のパートナーシップ](#)をご覧ください。Red Hat と OCI の共同ソリューションがもたらすメリットや、OCI 上の OpenShift Virtualization がお客様の組織の VM 移行とアプリケーション・モダナイゼーションの取り組みをどのようにサポートできるかなどの詳細をご確認ください。



#### Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

**f** [fb.com/RedHatJapan](https://fb.com/RedHatJapan)  
**X** [twitter.com/RedHatJapan](https://twitter.com/RedHatJapan)  
**in** [linkedin.com/company/red-hat](https://linkedin.com/company/red-hat)

[jp.redhat.com](https://jp.redhat.com)

**アジア太平洋**  
+65 6490 4200  
[apac@redhat.com](mailto:apac@redhat.com)

**オーストラリア**  
1800 733 428

**インド**  
+91 22 3987 8888

**インドネシア**  
001 803 440 224

**日本**  
03 4590 7472

**韓国**  
080 708 0880

**マレーシア**  
1800 812 678

**ニュージーランド**  
0800 450 503

**シンガポール**  
800 448 1430

**中国**  
800 810 2100

**香港**  
800 901 222

**台湾**  
0800 666 052